

SABO NEWS LETTER

第 157 号【発行日】令和 5（2023）年 6 月 7 日(水)【発行】(一社)全国治水砂防協会

目 次

1. 目 次 1
2. 国土交通省砂防部長よりご挨拶 2
3. (一社)全国治水砂防協会理事長 挨拶 3
4. 国土交通省提供資料 4

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

一般社団法人 全国治水砂防協会

住所：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

国土交通省砂防部長よりご挨拶

6月 は土砂災害防止月間です。全国的に本格的な梅雨期に入り、土砂災害も増えるこの時期に、土砂災害に対するあらかじめの備えを強化するために、国土交通省や都道府県の砂防部局が中心となり市町村のみなさんと連携して様々な運動・活動を行っていきます。具体的には、土砂災害のおそれのある箇所での点検、住民参加型の防災訓練、講演会やパネル展といった取り組みを地域の实情に即して行っていきます。月間ポスター（添付資料）をご覧ください。“どしゃくずれが来るぞ!” “危険!! 命を守る行動を!!” と小中学生のみなさんが土砂災害への注意を呼び掛けてくれています。住民のみなさんには、身の周りの危険な場所を知っていただくとともに、いざという時の自らのとるべき行動をあらかじめ考えていただき、行政サイドは住民のみなさんに理解いただけるように関連情報をわかりやすく提供することで「確実な避難行動」につながるよう力を合わせてまいりたいと考えます。

今年度に入って、防災関係者にとって例年に増して気の休まらない日々が続いております。沖縄では早々に「線状降水帯」が確認され、石川県能登地方での最大震度6強の群発地震、さらにはゴールデンウィーク期間中においても「5月としては記録的な降雨を各地で観測」といったニュースが飛び交いました。そんな中、広島県呉市では4月26日に発生した斜面崩壊で、一時地すべりのおそれもありと多くの地域住民の方に避難指示が出される緊迫した状況になりましたが、砂防学を専門とされる広島大学・海堀教授による現地調査や、広島県・呉市の現地調査を受けて、地すべりのおそれは無いということで避難指示は解除されています。また、過去に整備された急傾斜地崩壊防止施設がしっかりと機能しているとの報告をいただいております。あらためて関係者連携や事前防災の重要性を認識したところです。

土砂災害の防止・軽減に向けたソフト対策としては、土砂災害警戒情報が発表された場合には、市町村は土砂災害警戒区域内を対象に避難指示を発令することを基本とした対応になります。会員のみなさまにおかれましては、今一度、大雨時の対応について、現時点チェックをお願いします。一方、ハード対策としては、砂防関係施設を1基でも多く1年でも早く完成させることで、確実に「いのち」と「くらし」を守っていきたいと考えます。国土交通省と都道府県の砂防部局では「防災・減災国土強靱化のための5か年加速化計画」予算も活用して砂防関係事業の推進に努めています。引き続きのご支援をよろしくお願いします。

末筆ながら、本格的な梅雨期を間近に控え、土砂災害の防止・軽減が一層図られますようみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

(一社)全国治水砂防協会理事長 挨拶

会員の皆様へ

例年より早く、5月末に西日本が梅雨入りしたかと思うと、6月2日には各地で線状降水帯が発生し、豪雨となりました。和歌山県や静岡県、神奈川県など広い範囲で大きな被害が出ております。お亡くなりになった方に哀悼の意を表し、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げたいと思います。荒ぶる気象を前にして、今の私たちがすべき事は国土強靱化の速度をできるだけ上げていくことではないでしょうか。当協会としても砂防事業が進むようにますます努力していかねばならないと今回の災害の惨状を見て改めて感じた次第です。

さて、5月25日に開催いたしました全国治水砂防協会の総会には、1,000人を超える方々に参加していただきました。心から御礼を申し上げます。また今年には役員改選の年でもありました。新役員一同、協会活動にしっかりと取り組んでまいりますので引き続きどうかよろしくごお願い申し上げます。

また、6月1日には土砂災害防止月間「全国の集い」が富山県富山市の富山国際会議場で行われ、私も参加してまいりました。今年には第41回目の集いとなります。800名を超える多くの参加があり、大盛況の大会となりました。基調講演では京都大学防災研究所長の中北英一教授が、「気候変動による豪雨災害への影響」と題して地球の温暖化がすでに進んでおり、気象災害をもたらすことが明らかである今、後悔しないように今の私たちが行動を起こすべきであるという趣旨のお話をされていました。またパネルディスカッションでは、「治水分県・富山で考える土砂災害対策」をテーマに、富山県の治水の歴史をわかりやすく説明し、富山平野を災害から守っている立山砂防の価値や砂防事業の意義・重要性がよくわかる内容でした。先人の苦勞に思いを馳せ、立山砂防の世界文化遺産登録が1日でも早く進むようにと願わずにはられません。

最後になりましたが、別添砂防部資料の土砂災害防止月間のポスターをご覧ください。小学生や中学生の描かれた素晴らしい絵を見ることができます。土砂災害防止月間では各地で多くのイベントが行われる予定です。広報や啓発活動を通じて、土砂災害による被害が少しでも減るようにこの月間イベントに皆で取り組んで参りましょう。

令和5年6月7日
一般社団法人 全国治水砂防協会
理事長 大野 宏之

みんなであらゆる土砂災害

いのちとくらしを守る
砂防堰堤



白岩砂防堰堤(重要文化財)

最優秀賞(国土交通大臣賞)

山形県 南陽市立赤湯小学校2年
村上陽那乃さん



土砂災害から身を守る3つのポイント
あなたも危険な場所にお住まいかも

宮城県 石巻市立青葉中学校3年 神山莉子さん

最優秀賞(国土交通大臣賞)



土砂災害防止月間

がけ崩れ防災週間 6/1→7 6/1→30

主催 国土交通省・都道府県

【後援】内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人全国治水砂防協会、一般財団法人砂防・地すべり技術センター、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、一般社団法人斜面防災対策技術協会、一般社団法人建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会

令和5年4月26日発災 広島県呉市広塩焼二丁目 斜面崩落

【主な時系列】

- 4月26日7時30分頃 住民（呉市広塩焼2丁目）から山から異音がすると消防に通報
- 4月26日10時10分 周辺に避難指示発令【呉市】（広塩焼1丁目と2丁目 最大140世帯・約340人）
- 4月26日午後 現地調査【広島県砂防課】
- 4月27日14時30分 学識経験者現地調査【広島大学・海堀特任教授】
- 5月 1日13時30分 避難指示解除（当面、大雨注意報等で避難指示発令）

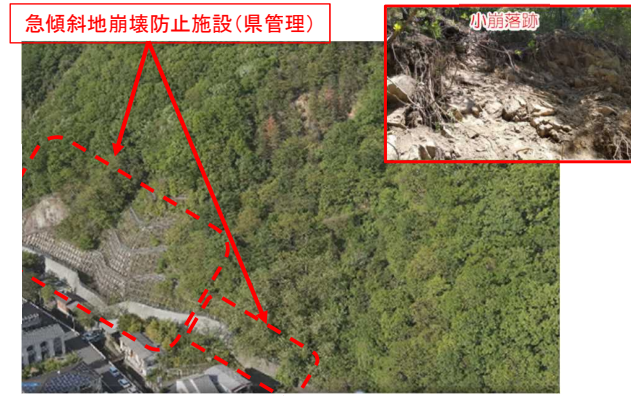


【雨量】

- 連続雨量66mm（令和5年4月25日10時～4月26日5時）
- 最大時間雨量10mm/h（令和5年4月26日2時～3時）

【広島大学・海堀特任教授コメント】

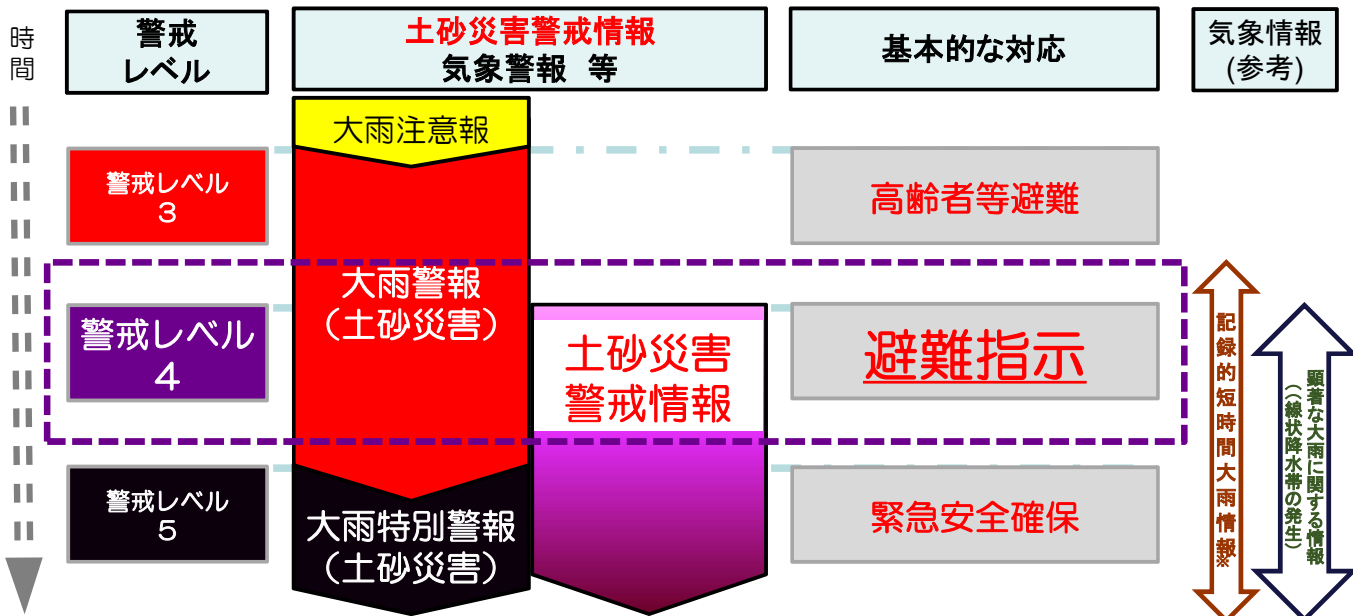
- ・地すべりの兆候はない。
- ・小規模な崩壊が音の原因と推察される。
- ・広い範囲で土砂が崩れこの住宅地を襲うようなものという想定までは必要ないかもしれないが、少ない雨量で異音が発生していることから、注意する必要がある。



R5.4.27 海堀特任教授(広島大学)によるぶら下がり取材対応

土砂災害警戒情報の発表とその対応について

令和3年5月の災対法、土砂災害防止法の改正により、**避難勧告・避難指示は避難指示に一本化**。
土砂災害警戒情報（レベル4）が発表された場合は、**市町村長**は躊躇することなく**避難指示を発令**する。
都道府県は、市町村長が躊躇することなく発令できるよう、**ホットライン等で助言を実施**。



※記録的短時間大雨情報:数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析した場合に発表。大雨警報発表中に、キキクル(危険度分布)に「非常に危険(うす紫)」が出現している場合に発表。